

## 賞味期限について

食事の用意、大変ですね。

スーパーなどに買物に行くと、かしこい主婦は必ず、棚の奥の方から「賞味期限」の長い品物を選びます。賞味期限切れの品物が間違っておいてあったら、二度とそのお店には買いに行かないといった徹底ぶりです。

そもそも賞味期限とはなんでしょうか。

メーカーの説明によると「おいしく食べられる、味が保障できる期限」のことだそうです。実際には、2～3日過ぎたからといって、食べられなくなるわけではありません。



賞味期限と消費期限を混同して覚えていませんか？

賞味期限とは、劣化が遅い商品で日持ちしない物は消費期限で表示されています。また、今日すぐに食べてしまう物はそんなに期限を気にする必要があるのでしょいか。

賞味期限が長い商品は、新鮮なものと思い込んでいて、その結果、たくさんの商品がその価値を失い、大量に廃棄されています。「私には関係ない」いえいえそうでもありません。実は、大量に廃棄する分も価格に上乗せされて売られています。捨てる分も、あなたがお金を払っているわけです。かしこい主婦は、そのような事情を知っている人のことを指す言葉でしょう。買物をするとき、こんなことを考えてみることも、立派な環境活動といえます。

